

## ごあいさつ



皆さまには、平素より、りゆうぎんをご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、金融界は今、大手銀行同士の経営統合による四大金融グループの誕生、インターネット専門銀行の出現、異業種による銀行業への参入など、日本版ビッグバンと言われる金融改革の総仕上げの段階に入っております。こうした金融環境の下、地域金融機関においても厳しい競争を勝ち抜かねばならない状況は例外ではございません。

当行は今般、平成13年度から14年度までを対象期間とする中期経営計画「Speed 2001(スピード2001)」を策定いたしました。従来、中期経営計画は3年～5年で策定しておりましたが、昨今の著しい金融環境の変化に迅速に対応するため、「Speed 2001」は2年計画とし、「経営資源投入分野の選択と集中」、「業務プロセスの大胆な再構築」をキーワードに、経営目標である「安定した収益基盤の確立」を図ってまいります。

具体的には、経営資源を銀行の本業である融資業務へ集中的に投入し、徹底した内部事務の効率化や諸手続の簡素化によって融資実行のスピードアップとお客さまのニーズへの的確な対応を実現し、特に個人を含む小口融資の量的拡大を図ってまいります。併せて顧客利便性の向上は、引続き経営上の重要課題として認識いたしており、平成13年度もインターネット・モバイルバンキングの開始や住宅ローンセンターの拡充強化等を予定するなど商品・サービスの充実を図ってまいります。

また、平成13年度の短期経営計画では、「選択と集中に基づく収益基盤の確立」を単年度目標に掲げており、「Speed 2001」で掲げた諸施策の大部分は今年度中に定着化を図ってまいります。

昨今の金融機関を取り巻く経営環境は、ITを活用した新形態の銀行や金融再編によるメガバンクの出現など、ますます厳しさを増しておりますが、これら外部環境の変化やお客さまのニーズにスピーディーかつ的確に対応していくことを通して、2世紀に勝ち残っていける「強い銀行」となることを宣言いたします。

平成13年7月

取締役頭取 **大城 勇夫**